

# 吉田 紗苗 - ピアニスト



北海道出身。青村理恵子氏のもとでピアノを習い始める。

桐朋学園大学で三上桂子教授に師事。

その後ノルウェー政府給費留学生としてノルウェーに渡り、バラット=ドゥーエ音楽学校のイジー・フリンカ教授、スタヴァンゲル大学のホーコン・アウストボー教授に師事。現在活動の拠点をノルウェーオスロにおき、ソリスト、室内楽奏者、伴奏者として活動している。

2017年10月より、ノルウェー国立音楽大学の演奏博士課程研究員として採用される事が決定している。研究テーマの「微分音ピアノ」と関連し、スタインウェイ・ノルウェーのギスレ・ドウス氏の下で微分音ピアノ調律の研鑽も積んでいる。

近年は現代音楽の演奏を重点にしつつ、ジャンルを問わず様々な活動を展開している。2016年秋、オスロで毎年開かれる現代音楽祭ULTIMAにおいて、自身がたちあげたアンサンブル、アンサンブル・テンポラム ([www.ensembletemporum.com](http://www.ensembletemporum.com)) がデビュー。アンサンブル名の由来である、ジェラルド・グリゼーの大曲「時の渦: Vortex Temporum」を演奏し、コンサートのライブ音源とインタビューがノルウェー国営ラジオNRKにて取り上げられる。この一ヶ月後にはマティアス・シュパーリンガーの「無限に対して: gegen unendlich」をオスロ現代音楽協会主催のコンサートシリーズで演奏。好評を得る。2017/2018年度はフィンランド、デンマーク、アイルランドの音楽祭、北欧4ヶ国若手作曲家の祭典等での演奏活動を予定している。

2016年現在メイン演奏家として参加しているCDは現在販売準備中のものも含め3枚。現在販売中のCDは2017年度ノルウェーグラミー賞クラシック部門にノミネートされ、様々な媒体で取り上げられている。

モンラード・ヨハンセン室内楽 Simax (販売中・PSC1334)

ハルフダン・クレーヴェ室内楽 Simax

オイヴィン・メーラン ソロ・室内楽現代音楽 LAW0

これまでにベルゲンフィル、バラット=ドゥーエシンフォニーオーケストラ等と共演。ノルウェー国内はもとより、ヨーロッパ各地の音楽祭でソロ・室内楽の演奏活動を展開している。また、伴奏者としては、これまでにスタヴァンゲル大学音楽学部、バラット=ドゥーエ音楽学校、ノルウェー国立アカデミー、オスロ芸術大学、シー音楽高校にて非常勤伴奏者として、オスロのフォス音楽高校では教員兼伴奏者として採用され、後進の指導にも当たっている。